

平成 31 年 2 月 吉日

関係各位

北海道大学大学院医学研究院児童思春期精神医学分野
札幌市保健福祉局障がい保健福祉部

札幌市の子どもの心の医療を考えるシンポジウム ～他の自治体から学ぶ関係機関の役割と連携～ 開催のご案内

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

また、平素は格段のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

近年、子どものこころの問題が、大きな社会問題となっておりますが、この背景には、医学的に治療が必要と考えられる子どもが数多くいると言われており、そのような子どもへの支援体制の向上が課題とされているところです。

札幌市と北海道大学大学院医学研究院児童思春期精神医学分野は、児童精神科医療を中心とした関係支援機関の連携体制のさらなる発展、充実を目指すことを目的に、平成 27 年 10 月より、共同で「さっぽろ子どもの心の診療ネットワーク事業」を行っており、支援機関同士の連携体制（ネットワーク）を構築し、支援体制の向上を目指しております。

そこで、札幌市の子どもの心の医療について、より多くの方に現状を知っていただき、課題を共有する、お互いのできることを考える、そのようなきっかけづくりの場としたいと思い、平成 29 年に続き、2 回目となるシンポジウムを開催することとしました。

つきましては、ご多用中恐縮ではございますが、ぜひご参加賜りますようご案内申し上げます。

記

日時：平成 31 年 3 月 9 日（土）13:00～16:00

内容：基調講演、シンポジストによる講演、パネルディスカッション

【基調講演】外岡 ^{とのおか} 資朗 ^{しろう} 氏（鹿児島県こども総合療育センター 所長）

【シンポジスト】上田 ^{うえだ} 敏彦 ^{としひこ} 氏（札幌市子ども発達支援総合センター 所長）

北川 ^{きたがわ} 聡子 ^{さとこ} 氏（社会福祉法人麦の子会 総合施設長）

武田 ^{たけだ} 洋一 ^{よういち} 氏（札幌市スクールソーシャルワーカースーパーバイザー）

【パネルディスカッション】座長：齊藤 ^{さいとう} 卓弥 ^{たくや}（北海道大学大学院 医学研究院 児童思春期精神医学分野 特任教授）

パネリスト：外岡史朗氏、上田敏彦氏、北川聡子氏、武田洋一氏

会場：北海道大学医学部 臨床講義棟2階 大講堂（札幌市北区北 14 条西 7 丁目）

対象：医療、教育、福祉、保育の各機関、現場で子どもに関わる方

※ 参加費無料、事前登録不要となります。

お問合せ：・札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部 障がい福祉課

011-211-2936(担当:名塚 ^{なづか})

・北海道大学大学院医学研究院児童思春期精神医学分野

011-716-1161(代表)

会場のご案内

会場：北海道大学医学部臨床講義棟 2階 大講堂

交通のご案内



札幌駅から
徒歩約 20 分



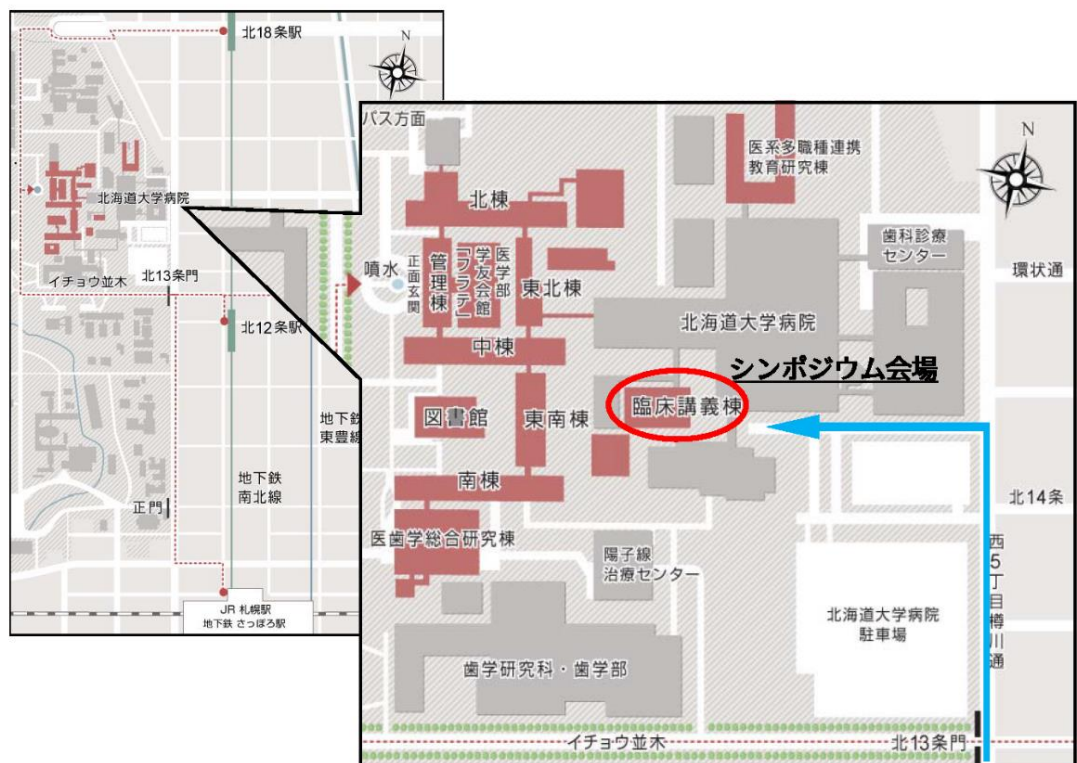
南北線

北 12 条駅から
徒歩約 10 分

北 18 条駅から
徒歩約 10 分

東豊線

北 13 条東駅から
徒歩約 15 分



至 札幌駅 ↓

14 条門よりお入りいただき北大病院正面玄関を右手に救急玄関方面へ直進ください。
突当りの建物が臨床講義棟となります。

※ 来学者用の駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用いただくよう
願います。